

災害ボランティア連絡会説明資料 (12/16)

1

8 感染症対策

本マニュアルは、危機管理室が作成した「新型コロナウイルス感染症を踏まえた地域防災拠点の開設・運営のポイント」を前提として、感染症対策をまとめたものです。
1から7に記載されている内容と相違がある場合は、この項の内容を優先します。

1 事前の準備

(1) 感染症対策物資の整備 (令和2年9月末時点)

ア 市の感染防止物品

地域防災拠点の防災備蓄庫に配布済みです。(段ボール間仕切り及びベッド除く)

イ 区の感染防止物品

区独自で感染防止物品を購入し、各地域防災拠点に備蓄します。(備蓄は今後調整)

※ア、イともに地区センターなど地域防災拠点以外については、区役所で保管し、台風などの到来時など必要なときに避難場所の運営責任者が運搬します。

物品名	市が整備した物品 (数量は1拠点あたりの量)	区が整備した物品 (予定含む) (数量は1拠点あたりの量)
非接触型体温計	1本	1本
サージカルマスク	500枚	0枚
フェイスシールド	30枚	10枚
アルコール消毒液	40本 (20ℓ)	0本
消毒液	10本 (6ℓ)	0本
雑巾	10枚	0本
ケース	1つ (市が整備する物品を備蓄)	1つ (区が整備する物品を備蓄)
段ボール間仕切り及びベッド	6セット	0セット
使い捨て手袋	500組 (1,000枚)	0枚
ハンドソープ	0個	10個
使い捨てガウン	0着	10枚
間仕切り (テント)	0個	未定 ※仕様がバラバラであること、調達できている数量が少ないため。
養生テープ	0本	15本×4種類 (1本25m)
キッチンペーパー	0パック	1パック (1パック3箱)
簡易トイレ	0個	5個
トイレパック	0個	25個
ウェットティッシュ (アルコール含有)	0箱	2箱 (1箱400枚)
ゴミ袋	0枚	40枚×3種類 (45、70、90ℓ)
使い捨て鉛筆	0本	200本
カッター	0本	10本
軍手 (滑り止め付)	0組	10組
防犯ブザー	0個	10個

※市が整備する「段ボール間仕切り及びベッド」は岸根公園に設置されている方面別備蓄庫に備蓄されているため、必要時には自力で取りに行く必要がある (令和2年9月末時点での情報。今後変更の可能性あり。総務課のセレナが1回で運べる量は最大6セット (1拠点分)。

参考

○市備蓄品



(上) 各地域防災拠点の備蓄庫に納品されているもの
 (右上) 段ボールの中にアルコールが20本入っている
 (右) ケースの中に入っている物品



段ボールベッドと間仕切りは別で。
 間仕切りはビニール袋にくるまれ、1つの中に3セットが入っている。

○区備蓄品 (令和2年9月末時点)



区備蓄品全体(ウェットティッシュは入りません)

非接触型体温計(市のものとは別メーカーです)

フェイスシールド

ぞうきん ハンドソープ 使い捨てガウン

養生テープ (4種類)

キッチンペーパー

ウェットティッシュ

ゴミ袋 (3種類)

使い捨て鉛筆

防犯ブザー

2 風水害時の避難場所運営

(1) 運営スタッフ

運営スタッフは出発前に必ず体温を計測します。体温が 37.5℃ 以上の場合は、運営担当者から外れます。

避難場所到着後、手洗いを実施し（アルコール消毒でも可）、マスクを着用して設営準備を行います。

(2) 受付の設営

受付の設置に当たっては、避難者の動線、待機場所を明確にするよう、養生テープ等を使用してレイアウト（レイアウトのイメージ参照）します。避難者同士、また避難者と運営者の距離を 2m（最低 1m）保てるよう留意してください。併せて、避難者の接触が想定される場所の消毒を実施します。

（次亜塩素酸ナトリウムまたはアルコールを使用。ドアノブ、蛇口等）

【受付に用意する物】

- ・避難者カード（兼感染症チェックリスト）
- ・使い捨て鉛筆
- ・手指消毒アルコール 2 本
- ・非接触型体温計 2 本
- ・マスク 1 箱（避難者が所持していない場合に配付）

(3) 避難者の受付

受付を担当する人はマスク、フェイスシールド、ゴム手袋を着用します。適宜、受付に設置しているアルコール消毒液で手指等の消毒を行います。

受付に並ぶ人の数によりますが、最低 2 人以上で対応してください。内訳は 1 人が検温、もう 1 人が避難者カード等の内容確認および避難スペースへの案内です。避難者が一度に多く来た場合は、検温にもう 1 人配置するなど「密」の状態を避けるよう配慮してください。

◆避難者の受入手順◆

